

広島県内水面漁場管理委員会指示第三号

漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第一百三十条第四項で準用する第六十七条第一項の規定に基づき、平成三十年において、漁業権者が実施すべき増殖の目標量等を次のとおり指示した。

平成二十九年十二月二十五日

広島県内水面漁場管理委員会  
会長辻駒健二

九		八		七		六		五		四		三		二		一		番号指示
第内 九水 号共		第内 八水 号共		第内 七水 号共		第内 六水 号共		第内 五水 号共		第内 四水 号共		第内 三水 号共		第内 二水 号共		第内 一水 号共		番漁業権号
組合 面漁業 協同 市内水		〃		協同組合 水内川漁業		〃		協同組合 吉和川漁業		〃		〃		〃		協同組合 木野川漁業		の漁業権者 の名称
ふな	こい	うなぎ	あゆ	うなぎ	ます	こい	あゆ	うなぎ	ます	あゆ	うなぎ	あゆ	ます	うなぎ	ます	あゆ	魚種名	増殖
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	種苗放流	方法	方法
一〇〇 〃	一〇〇 〃	六〇 〃	一五〇 〃	二〇 〃	二五〇 〃	四〇 〃	八〇〇 〃	五〇 〃	三六〇 〃	一〇 〃	五〇 〃	一〇 〃	三〇 〃	一〇〇 ラム	キログ	指示数		
	いとして「黒」とする。 主として「黒」とする。				在来ますは「あ ま」とする。	いとして「黒」とする。 主として「黒」とする。			在来ますは「あ ま」とする。				在来ますは「あ ま」とする。	在来ますは「あ ま」とする。	在来ますは「あ ま」とする。		備考	

一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇
第二内 第三水 三号共	第二内 第三水 二号共	第二内 第二水 二号共	第二内 第二〇水 号共	第一内 第一九水 号共	第一内 第一八水 号共	第一内 第一七水 号共	第一内 第一六水 号共	第一内 第一五水 号共	第一内 第一四水 号共
同組合 太田川漁業協	〃	業協同組合 太田川上流漁	〃	〃	〃	同組合 八幡川漁業協	〃	〃	同組合 三段峡漁業協
あゆ	ます	こい うなぎ	あゆ	ます	こい うなぎ	ます	うなぎ かわむつ いぐい	はや(お いかわ うぐい)	うなぎ ます
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	種苗放流 (移植放流) 流含む	種苗放流 成卵床造	種苗放流
(七五〇 千尾)	三、 五〇〇 〃	一六〇 八〇 〃	五〇 〃	一、 三一〇 〃	二〇 〃	八〇 〃	一〇 〃	一六〇 九〇 一〇 一〇 一〇 七〇 キログ 一、 〇〇〇 一ト トル 五〇 〃	六〇〇 ラム 六〇〇 キログ
	在来ますは「あ まご」とする。	主として「黒 い」とする。		在来ますは「あ まご」とする。	主として「黒 い」とする。	在来ますは「あ まご」とする。	主として「黒 い」とする。	在来ますは「あ まご」とする。	主として「黒 い」とする。

二七		二六		二五		二四		二三		二二		二一		二〇		一九			
第三内水号共		第二内水号共		第一内水号共		第一内水号共		第一内水号共		第一内水号共		第一内水号共		第一内水号共		第一内水号共			
〃		〃		〃		〃		協同組合 可愛川漁業		協同組合 三篠川漁業		〃		〃		太田川漁業 協同組合			
うなぎ	ます	あゆ	うなぎ	ます	あゆ	ふな	うなぎ	ます	こい	あゆ	に もくずが	こい	うなぎ	あゆ	ふな	ます	に もくずが	こい	うなぎ
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	種苗放流	流稚がに放	〃	〃	〃	〃	種苗放流	流稚がに放	〃	種苗放流
一〇 〃	一〇 〃	五〇 〃	一〇 〃	一〇 〃	五〇 〃	四〇 〃	九〇 〃	一六〇 〃	一〇〇 〃	一、三五〇 〃	五 〃	五〇 〃	三〇 〃	四〇〇 〃	一〇 〃	二三〇 〃	一〇 〃	二六〇 〃	九〇 ラムキログ
	在来ますは「やまめ」とする。			在来ますは「やまめ」とする。				在来ますは「やまめ」とする。	在来ますは「やまめ」とする。	主として「黒い」とする。放流は、土師ダムより上流とす	主として「黒い」とする。放流は、土師ダムより上流とす					在来ますは「あまめ」とする。		主として「黒い」とする。	

三六					三五		三四		三三		三二		三〇		二九		二八			
内水共 第四〇号					内水共 第三九号		内水共 第二八号		内水共 第三七号		内水共 第三六号		内水共 第三五号		内水共 第三四号		内水共 第三三号			
協同組合 江の川漁業					協同組合 西城川漁業		協同組合 西城川漁業		業協同組合 神之瀬川漁		業協同組合 神之瀬川漁		業協同組合 神之瀬川漁		協同組合 田總川漁業		可愛川漁業 協同組合			
いかわ (お)	ひな	こい	うなぎ	あゆ	うなぎ	ます	あゆ	うなぎ	ます	こい	あゆ	ます	ます	こい	うなぎ	あゆ	はや (お) かわむつ いかわ・			
流含む (移植放流)	種苗放流 成卵床造	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	種苗放流 成卵床造	流含む (移植放流)	種苗放流 成卵床造		
一一〇 ラム	一、八〇〇 キログ	二四〇 一トル	三〇 リ	三七〇 リ	五、四五〇 リ	七〇 リ	二〇〇 リ	二、一九〇 リ	一四〇 リ	二四〇 リ	二七〇 リ	二〇 リ	三〇 リ	一〇 リ	一〇 リ	一一〇 ラム	一、〇〇〇 キログ	二、〇〇〇 一トル		
産卵床造成又は 種苗放流とす る。		主として「黒」 い」とする。 放流は、灰塚ダ ムより上流とす る。		在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。		まめ」とする。 まめ」とする。 まめ」とする。 まめ」とする。 まめ」とする。		主として「黒」 い」とする。 主として「黒」 い」とする。 主として「黒」 い」とする。 主として「黒」 い」とする。		在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。		在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。		在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。		在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。		在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。 在来ますは「や まめ」とする。		産卵床造成又は 種苗放流とす る。

四五	四四				四三		四二		四一		四〇		三九		三八		三七	
内水号共 第四九号	内水号共 第四八号				内水号共 第四七号		内水号共 第四六号		内水号共 第四五号		内水号共 第四四号		内水号共 第四三号		内水号共 第四二号		内水共 第四一号	
協同組合 沼田川漁業	協同組合 本郷沼田川漁業				〃		〃		〃		協同組合 東城川漁業		〃		〃		帝釧漁業 協同組合	
ふな	こい	うなぎ	あゆ	（・かわむつ・ うぐい）	わかさぎ	ふな	うなぎ	ます	こい	あゆ	うなぎ	あゆ	わかさぎ	ふな	こい	うなぎ	ます	あゆ
〃	〃	〃	種苗放流	流含む (移植放流)	種苗放流	成産卵床造	流発眼卵放	〃	〃	〃	〃	種苗放流	流発眼卵放	〃	〃	〃	種苗放流	種苗放流
一〇 〃	七〇 〃	二〇 〃	五〇〇 〃	七五 ラム キログ	一、二〇〇 平方メートル	五〇〇 万粒	二〇 〃	四〇 〃	三四〇 〃	一二〇 〃	一五〇 〃	一〇 〃	三〇〇 ラム キログ	一〇 〃	五〇 〃	二〇 〃	一八〇 ラム キログ	三〇〇 ラム キログ
	主として「黒い」とする。			る。種苗放流とすは産卵床造成又は					在来ますは「あまご」とする。	主として「黒い」とする。						主として「黒い」とする。	在来ますは「あまご」とする。	

五〇	四九	四八				四七	四六
第五内 水四号 共	第五内 水三号 共	第五内 水二号 共				第五内 水一号 共	第五内 水〇号 共
福山市芦田川 漁業協同組合	〃	芦田川府中漁業協同組合				〃	芦田川上流漁業協同組合
ふな	うなぎ	ます	にもくずが	ふな	うなぎ	あゆ	ふな
〃	〃	種苗放流	稚がに放	〃	〃	〃	種苗放流
一〇 〃	三〇 〃	四〇 〃	五 〃	五〇 〃	二五 〃	四五〇 〃	六〇 〃
			る。在来ますは「 あまご」とす				三〇〇 ラム キログ